

「みどり」を通じて 地域貢献を

佐賀県造園建設業協会会長 村山 優



新年あけましておめでとございます。
県民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこと

とお慶び申し上げます。

日頃より、当協会の事業運営につきまして、格別のご協力、ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は、例年と同様に残念ながら、日本各地において地震や台風により甚大な被害がもたらされました。特に、10月の台風21号は、西日本中心に人命もさ

ることながら多くの甚大な被害をもたらしました。お見舞い申

し上げます。

このような中、私ども佐賀県造園建設業協会は、地震、風水害その他災害が発生する場合、佐賀県が行う応急対策等に対する応援協力及び緑化啓発活動等について、その運営を適正かつ円滑にするために、佐賀県と昨年5月に「災害時の応援協力及び緑化啓発活動等に関する協定」を締結いたしました。

この協定の締結により、県からの要請を受け、県が管理する公共施設等の被害情報の収集、倒木等の障害物の撤去や応急復旧を行うことで、県政に寄与したいと思っています。

また、本県では、平成35年に第78回国民スポーツ大会の開催

が予定されています。この大会を通じて県内のスポーツの力を活かし明治維新150年を契機に郷土佐賀への誇りと愛着をさらに豊かなものにするため、私ども協会も緑化啓発活動通じて大会の成功及び県民の緑化意識の向上に取り組んでまいります。

さらに、佐賀の魅力をなお一層、全国に発信するために、全国都市緑化フェアの佐賀県での初開催招致の要望しているところであります。ご承知の通り、全国都市緑化フェアは、花や緑に関する国内最大級のイベントであり、「緑のまちづくりの推進」「市民の緑化意識の向上」「都市緑化に関する知識の普及

等を図ることにより、緑豊かな潤いのあるまちづくりの実現を目指して開催されています。本県での開催により、本県の持つ様々な魅力を県民自ら最大限に表現し、県民が故郷に自信を一層深める場になると信じています。

そのため、本協会は、今以上に県民皆様の緑化意識の向上に努めてまいりますのでご理解、ご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、私たち協会、造園業界は、今後とも「みどり」を通じて地域に貢献してまいりたいと思っています。

県民の皆様にとりまして、今年がより良い年になりますよう祈念、申し上げます。

環境整備事業の 推進に期待

佐賀県造園協同組合理事長 小林 市造



新年あけましておめでとございます。今年こそは災害の少ない平穏な年であってほしいと願うところですが、今年は選挙や皇室行事等国、県レベルでの諸行事の開催で少し慌ただしい年になりそうです。

近年国の施策により若年者を対象とした「ものづくり支援事

業」が盛んに行われています。当組合でも小、中、高の学校へ、ものづくりマイスターによる出前の技術指導を行っているところ

です。特に佐賀は幕末より維新期にかけ国内でも最先端の技術雄藩としてその名を全国に知らしめたことは、昨年から開催されている維新博でも多くの人が再認識したところです。

県では数年前に全国規模の大きなイベントが控えています。今後それらに伴うインフラ整備が徐々に行われていくと思いますが、中でも業界では環境整備事業の推進に期待しています。

それは住みたい県日本一にも繋がるものと思っています。

当組合では昨年も技術講習会を開催したところ、県内外より多くの参加者があり技術の研鑽ができました。又11月沖縄で開催された技能五輪全国大会では目標の頂点は逃したものの入賞することができ、本県技術力の高さをアピールできました。

今年も3月に入りますと例年通り吉野ヶ里歴史公園臨時駐車場に於いて春の訪れを告げる「春の花とみどりの市」が開催されます。この時期になると、木々

の芽吹きや花々の開花が始まり、人々の身も心も暖まる時の始まりです。毎年多くの人が集まり賑わっています。花やみどりの販売のみならず、モデル庭園、ガーデンニングショウ等技の見せ所も多数ありますので多くの人にご来場いただきたいと思

います。

今年は亥年で前進あるのみですが、新元号制定と増税前の駆け込み需要への期待と共にその反動への不安もあります。国の施策により安定した社会の構築を願います。本年もよろしく願っています。

